



待ちに待ったスタート!

西郷地区一杯に広がる田に水が張られ、その中にかわいらしい稲苗がきれいに整列して薫風に揺れています。

5月7日に、ようやく始業式と入学式を迎えることができました。新型コロナウイルスの全国感染状況からは、まだまだ予断を許すことはできませんが、鶴岡市としては、感染防止に万全の注意を払いながらの段階的な学校再開となりました。

新任式・始業式は、2か月ぶりの集会でした。間隔を空けて座り、いつになく緊張した面持ちで話を聞く子供たちの様子でした。

始業式では私から「自分の命を守る」ことと「西郷小のみんなを大事にする」という昨年度から繰り返してきた約束を、改めてこの度の感染症を予防する行動や偏見等につなげないことの大切さに関係づけて話をしました。

また「挨拶を交わす」ことも今までのように意識していこうと呼びかけました。朝も登校時に6年生が積極的に自分から挨拶をしてくれています。下学年もこうした姿を見て、相手に自分から明るく挨拶ができるようになってくれることを期待しています。マスクでなかなか表情が見えづらい今こそ、挨拶を交わすことを大事にしていきたいと思います。



始業式のあった日の午後。晴天の下、10名の新入生が真新しいランドセルを背負って、西郷小の門をくぐりました。待ちくたびれた入学式だったことと思います。誠におめでとうございます。

今年から男女混合の出席番号となり、一人ひとり呼ばれた順に元気よく返事をして担任の呼び上げに応えました。在校生は代表一人、地域のご来賓方々の出席はご遠慮いただいた形での式となりましたが、これから始まる小学校生活に期待を膨らませた



子供たちの笑顔を見ることができ、胸をなでおろしたところです。子供たちの学ぶ意欲を大切に、個々の持つ力を生かし、これからの時代を「生きる力」を育てていきます。

全校児童 108名のスタートとなりました。今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

